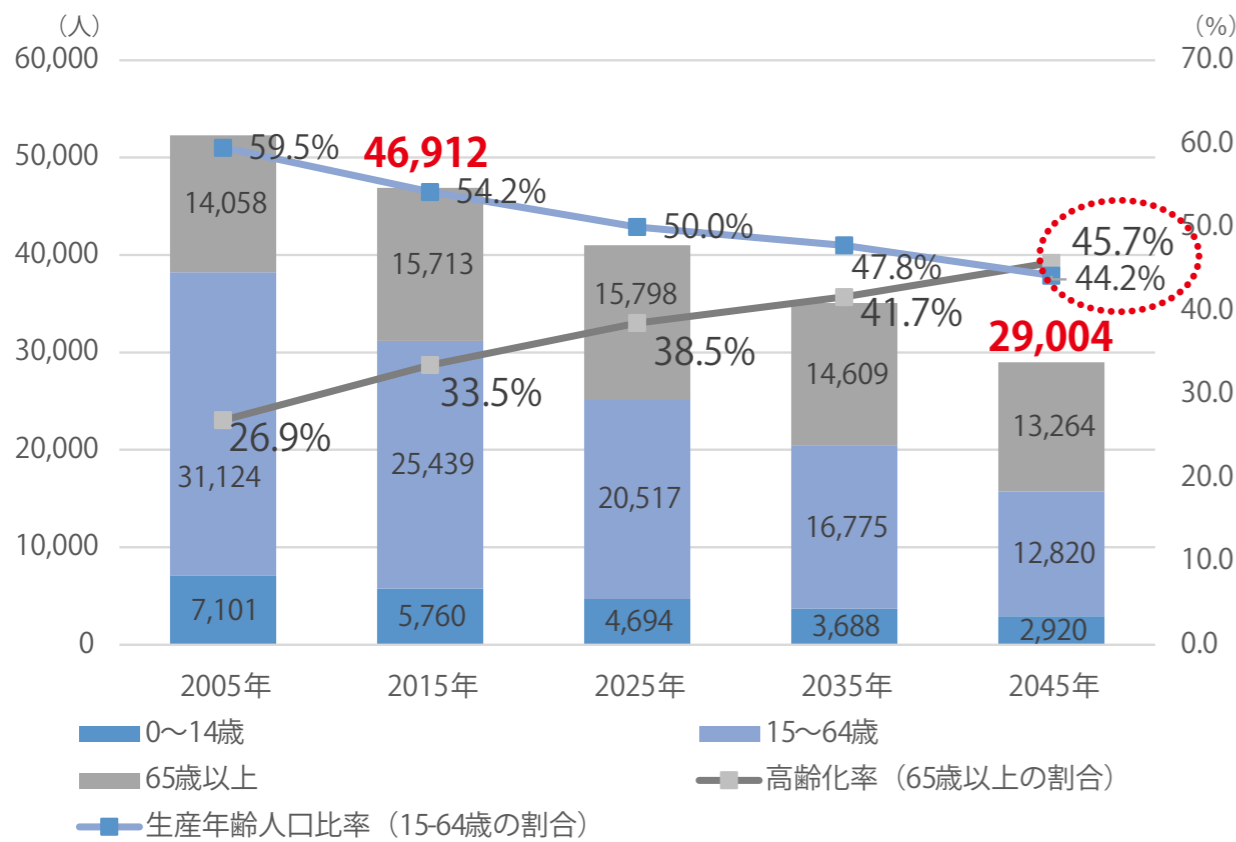


要チェック!!
グラフでわかる!

南あわじ市の現状と将来予測



出典: 国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(平成30(2018)年推計)」から作図

超高齢化が続く日本の人口は、2025年には、国民の5人に1人が75歳以上となり、シニア世代の方々の生活を支える年金や医療、介護などを含め様々な超高齢社会の課題が出てきています。

テレビや新聞等のニュースでも、「年金制度改革」「医療費の自己負担割合の変更」「介護業界の人手不足」「70歳以上の就業機会確保」などが取り上げられています。

日本中で超高齢社会の課題解決策が議論されているものの、解決策に特効薬はなく、国や自治体では手探り状態が続いています。

本市においても、急激な人口減少と高齢化が加速化し、本市の3人に1人が65歳以上となり、日本全国の高齢化の20年ほど先を進んでいます。

また、2045年には高齢人口(65歳以上)が生産年齢人口を上回ることが想定されています。

こうした現状を克服するために、社会を「支える側に立つ人」をできるだけ多く増やしていくことや、シニア世代の方々がいつまでも元気にいきいきと活躍し続けられる仕組みが必要となっています。

【お問合せ先】

南あわじ市総務企画部市民協働課 生涯活躍推進室

電話: (0799) 43 - 5244

メール: kyoudou@city.minamiawaji.hyogo.jp

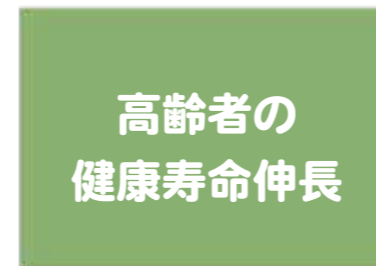
「いやっ、今も若いわ」
色々な挑戦をしないと後悔する。



「もう私は若くない」
と思ったときはまだ若かった



南あわじ市高齢者等元気活躍推進事業 人生100年いつまでも貢献できる働ける改革



人生100年時代の到来

高齢者の健康寿命伸長

地域の人手不足解消

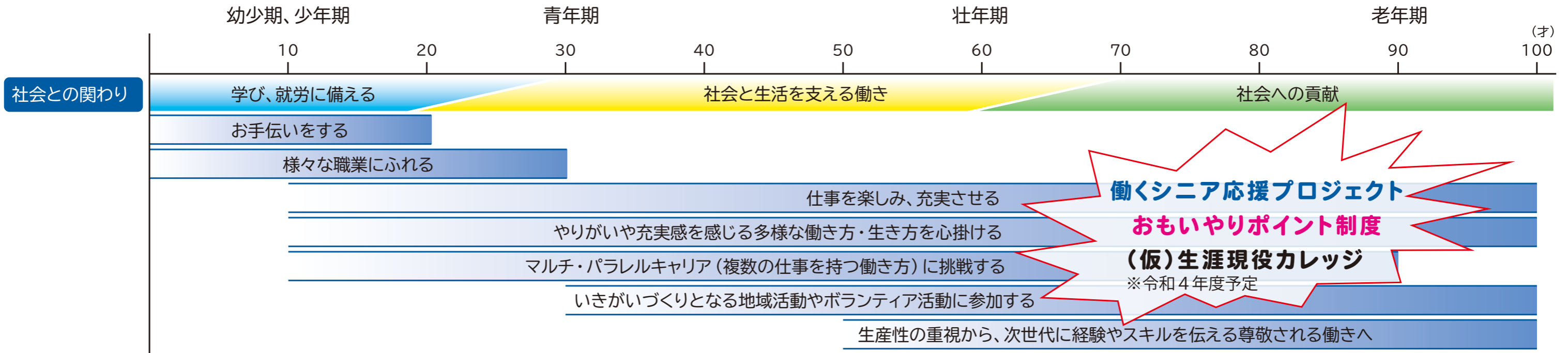
人生100年時代、長くなった人生に合わせて、人の生き方、社会経済システム、自治体施策などの見直しに必要な時期が来ています。

南あわじ市では、市民の皆様方の役割、生き方、暮らし方に着目し、人生の各ステージでの社会との関わり方をまとめました。

これらを市民や事業所の皆様方が参考とされ、豊かな人生設計や経済活動につなげていただければ幸いです。

「人生100年時代いつまでも貢献できる働ける改革」の推進

南あわじ市では、人生100年時代に合わせて、いくつになっても元気に活躍できる（ボランティア活動やシニア就労）社会の構築をめざしています。



働くシニア応援プロジェクト

令和元年10月開始

人生100年時代を迎える中、年々健康寿命の延びとともに、シニアの体力は向上し、元気なシニアが増えており、いつまでも働きたいシニアも増加しています。

一方で、市内の事業者には、求人を出しても応募がないなど、慢性的な人手不足により苦勞されている事業者が増えてきています。

「働くシニア応援プロジェクト」は、市内から公募したモデル事業者と共に、60歳以上のシニア向けに仕事の切り出しを行い、「シニアが無理なく負担なく働ける場」の拡大を進めています。

- ・4回モデル事業者を募集し、18社で41人の就労成立（令和3年10月末現在）
- ・製造、宿泊、観光、サービス、医療、介護、福祉関係の幅広い職場でシニア世代の雇用が拡大

生み出された仕事例

① 運転業務

- ・体力的な負担が少ない
- ・慣れた道で安心



② 屋内作業

- ・体力的な負担が少ない
- ・初心者でも安心



③ 入力業務

- ・体力的な負担が少ない
- ・経験が生かせる



おもいやりポイント制度

平成30年10月開始

心身の健康を保ち、充実した人生を送るには、就労だけではなく、必要とされる場所で自分にできる役割を持つことが大切です。

「おもいやりポイント制度」では、60歳以上のシニアの方々が、余暇時間を活用して、1週間に1回1時間など気軽にボランティア活動ができます。

- ・活動に対して付与されるポイントの使い道は、市内商店で使える商品券との交換、または活動先（施設）への寄付
- ・活動場所や活動内容の決定から初回活動までを市職員が支援（調整役）
- ・特技や経験を生かし、また新たな学びを次の活動につなげようと社会参加を始めるアクティブシニアが増加

おもいやりポイント制度の活動例

① 縫物

- ・外出するきっかけ
- ・特技が生かせる



② 工作・創作

- ・外出する楽しみ
- ・経験が生かせる



③ 読み聞かせ

- ・子どもの成長への貢献
- ・生涯学習の意欲向上

